

あーすぷらざ
かべ新聞
2014年度 第3号

世界の舞台



藤後あさみさん

カルロス・フィゲロア・アラルコン選手

こどもじゅうどうきょうしつ
指導する藤後さん。

教え子がオリンピック選手に！

藤後あさみさんは、中学から続ける柔道経験を生かし、青年海外協力隊※のスポーツ

分野の隊員として、エルサルバドルの柔道コーチを務めました。活動を始めた頃は、言葉や文化、練習に対する姿勢の違いに、大分悩んだこともあったという彼女。しかし「努力は人を裏切らない」という大学時代からの理念を胸に指導を続け、教え子の一人であるカルロス・フィゲロア・アラルコン選手が見事2012年ロンドンオリンピックの出場を果たしました。

オリンピック選手が生まれることは、国の人たちの希望や目標につながります。藤後さんのように、コーチとして選手を支え、共に夢の舞台をめざしている日本人がいるんだね。

世界各地に協力隊として派遣されている人たちがいます。



学生に発音を指導する
日本語教師隊員（フィリピン）

コンピューターの授業を担当する青少年活動隊員（ウガンダ）



打撃フォームを指導する
野球隊員（ブルキナファソ）

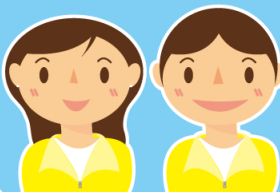
マラリアで入院している少女の母親と話す看護師
隊員（マラウイ）



世界中で活躍する日本人、
どんなことをしているの？

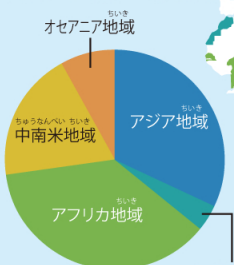
行ってみよう！

あーすぷらざにも協力隊
OBOGの職員がいます、
興味がある人は訪ねてみ
よう！色んな国の話が
聞けるかも！



現在派遣中の青年海外協力隊

- アジア地域…32% (591名)
- 中東地域…4% (75名)
- アフリカ地域…37% (690名)
- 中南米地域…19% (365名)
- オセアニア地域…8% (152名)



JICA 青年海外協力隊事務局事業概要パンフレットより

これまで、約4万人が88ヶ国でボランティアとして活動してきました。現在は、世界69カ国、約1900人がボランティアとして活動しています。(2014年11月30日現在)

青年海外協力隊って？
—派遣スタートから50周年—



青年海外協力隊とは、「お互いの価値観・生活様式・文化を尊重し、直接ふれあい、交流しながら、貧困問題、環境問題などその国の社会の抱える問題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としたボランティアです。2015年は、1965年に青年海外協力隊の初代隊員がラオスに派遣されてから、50年をむかえます。

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーすぷらざ

発行：神奈川県立地球市民かながわプラザ 指定管理者：公益社団法人 青年海外協力協会・株式会社 金港美装
問合せ：〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1
TEL 045-896-2121 FAX 045-896-2299 <http://www.earthplaza.jp>
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）〈貸出施設を除く〉

あーすぷらざは、国際理解や平和、地球規模の課題について、展示やセミナーを通して学ぶ場所です。 ■再生紙を利用しています。

